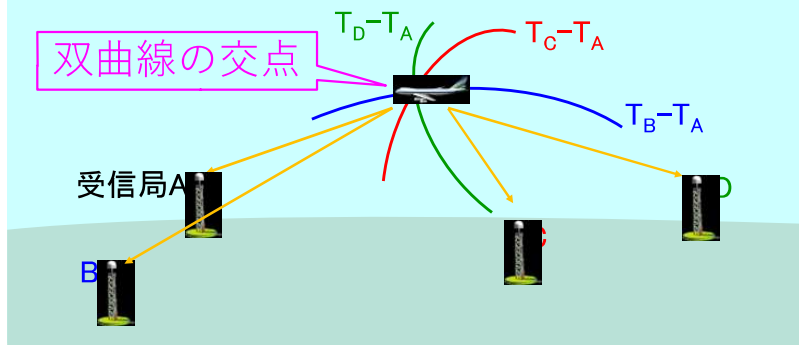


【実現施策の概要】

○航空路レーダー(SSR)の一部をWAMに置き換え、監視精度と頻度を向上させ、異種冗長性による信頼性の向上を図る。また、上空の電波無感地帯等のブラインドエリアの解消を図る。



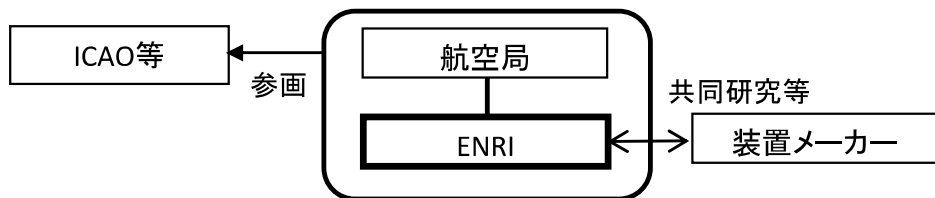
■ WAMの測位原理

【研究の実施概要】 2013～2020年度

- ・設定課題・目標 WAM監視覆域を航空路に拡張する技術開発
- ・研究テーマ名 【航空路監視技術高度化の研究(2013～2016年度) (ENRI:宮崎 裕己、長縄 潤一)】

【従属監視補完技術に関する研究(2017～2020年度) (ENRI:宮崎 裕己、長縄 潤一)】

- ・研究実施体制 下記参照。運営費交付金による事業

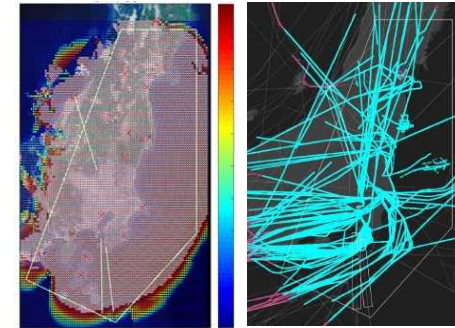


【成果還元の内容】

○開発した航空路WAM用の要素技術が実運用システムに反映され、現在導入が進められている航空路WAMの実運用開始を促進した。
[2021年度運用開始予定]



航空路WAM実験システム



性能予測結果と実航跡例

【ENRI開発技術の反映内容】

- ・実験システムによる評価を通して、我が国の地理的な環境に適したWAM要素技術を開発して、当該技術が実運用装置に反映された。
- ・WAM性能予測手法を確立して、受信局の設置場所を提案するなど実運用システムの性能確保に貢献した。

【WEB参照先】 電子航法研究所 年報

https://www.enri.go.jp/info/nenpou/nenpou_index.htm

【問合せ先】

(施策に関する問合せ) CARATS事務局
国土交通省 航空局 交通管制部 交通管制企画課 03-5253-8111(内線51104・51106)
(研究に関する問合せ) 国立研究開発法人 海上・港湾・航空技術研究所
電子航法研究所 研究統括監付 0422-41-3432